

文教大学情報学部 社会調査ゼミナール研究報告

不安に駆られて生活する大学生たち

平成21年2月

情報学部 広報学科 4年生

内野 涼介

目次

第1章 研究の概要	1
1.1 研究の背景と目的	1
1.2 研究の方法	2
(1) 進捗経緯	
(2) 調査の概要	
(3) 調査の意図	
1.3 成果の概要	3
第2章 研究の成果	5
2.1 回答者の概要	5
2.2 大学生が持つ金銭への意識	6
(1) 大学生の貯金の状況	
(2) 大学生の抱える経済面での不安	
2.3 大学生の人間関係	10
(1) 大学生は人間関係をどう捉えているか	
2.4 大学生の将来	13
(1) 大学生は将来をどう捉えているか	
(2) 学生の将来的な生活への希望	
第3章 まとめと今後の課題	17
参考文献	19
資料・単純集計結果	20

第1章 研究の概要

1.1 研究の背景と目的

少し前に、世間を騒がせた調査がある。『酒は飲まない、車は買わない、給料は貯金。こうした若者が増えているそうですが、この傾向、何か心配ですか？それとも、むしろ良いことだと思う？』

(TBS ラジオ「アクセス」2008年6月19日放送分)、そんなタイトルのもと、この調査は紹介された。以前よりも海外旅行に出かける若者が減ったという報道も、つい最近にラジオで耳にした。そしてこれを、フリーターやニートが増えている現状と合わせて、「自己投資が足りない」「人生をつまらなくしている」などと酷評して、コメンテーターなどは若者を批判する。

長く続いた不況の尾を引き、まだまだ消費者レベルでは景気が良くなったとは実感できない。一方、今の20代後半から20代前半にかけての世代はプレッシャー世代と呼ばれる。子供時代にバブル崩壊に喘ぎ苦しむ大人の姿を嫌と言うほど見せられ、その間に多くの若者が待遇の悪いフリーターや派遣労働へと転落していく様を見ているため、プレッシャーには強いが、それ以上に安定志向に走っているという。こうした背景を鑑みると、景気が良くなったと実感できないまま、再び経済が急転直下に悪化している今、若者の不安が貯金という安心感を求める行動に走らせるのも、何となく理解できよう。

一方、全体的な意識や価値観の変化も顕著である。政府の全国民を対象とする調査では、職場での人間関係の構築を重要と感じる人は多くいるものの、その人間関係について、生活上全面的に付き合いを行っていると言う人は73年から減り続け、遂に98年で部分的な付き合いに留めていると言う人と完全に拮抗した状態になった。職場での慰安旅行などの企画や職場での飲み会にも参加をしないと人も多く、人間関係の冷却化が見られる。加えて、物の豊かさよりも心の豊かさを求めるという傾向も、一貫して高くなっており、物質的な欲・即物的な欲を追い求めない傾向も見取れる。この社会全体に見られる傾向と先に述べた若者の漠然とした不安感からも、貯金という行動＝ある種の静を求める行動に必然性が見えてこなくもない。

こうして、社会全体の状況に揉まれて、若者の行動は少しずつ変化を見せている。これまで述べた若者の定義は、20代～30代前半という物が大半である。就業者が多く混ざっている調査の中で、このような傾向が現れている。では、これから社会に出る大学生はどのような意識を持っているのだろうか。大学生は学生という責任のいくらか軽い身分ではあるが、それでも同じ社会環境に生きている。そう考えると、同じ若者として、これまで述べたものと同様の傾向を示す可能性がある。こうした点を踏まえ、金銭面・人間関係・将来の展望という3点から、今の大学生の価値観を解き明かそうと思う。

1.2 研究の方法

(1) 進捗経緯

4月・5月・6月：研究テーマ模索

7月・8月・9月：研究テーマ決定・具体化

9月・10月：調査票作成・予備調査実施

11月・12月：本調査実施・エディティング・集計・研究

1月：調査報告提出

2月：調査報告訂正

(2) 調査の概要

・調査対象者と調査方法

調査時期：平成20年11月下旬

調査対象者：文教大学湘南校舎所属の学生

調査方法：調査票を授業内で配布・回収し、集計をおこなった。なお、授業の担当教授には、事前に了承を得た。

実施授業：平成20年11月20日（木曜日）5時限目・ベンチャービジネス論B

同年11月25日（火曜日）2時限目・広報論B

同年11月28日（金曜日）3時限目・記号論

配布数：171

回収数：171

うち無効票：1（全授業計）

(3) 調査の意図

生活意識・人間関係の考え方・将来に対する考え方の3点の相互比較、およびサークルへの所属状況など、フェースシート上の項目を利用しての各設問とのクロス集計を行うことを主眼においた。

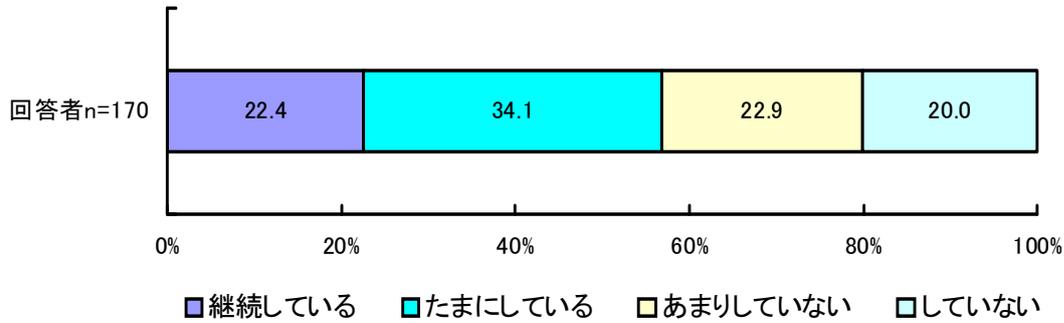
・調査項目

- ・ 可処分所得、貯金の有無、衝動買いの有無、休日の過ごし方
- ・ 人間関係への考え方、他人との付き合い方
- ・ 将来に対する考え方や希望
- ・ フェースシート（アルバイトやサークルへの所属状況）

1.3 成果の概要

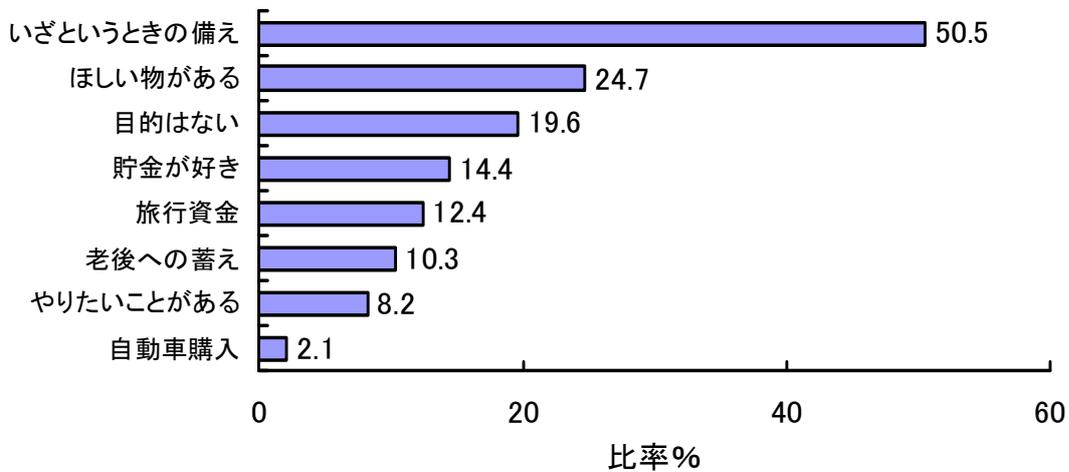
まず、図1-3-1で、大学生の貯金の状況を示す。大学生のうち、57%が何らかの形で貯金をしているということが、この結果から見て取れる。

図1-3-1 貯金の状況



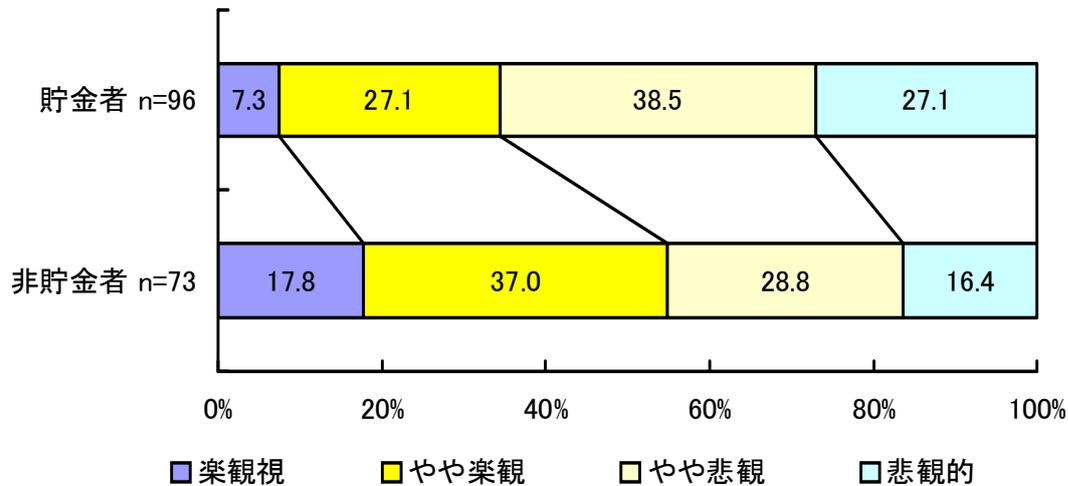
続いて、図1-3-2では、大学生が貯金をする理由を示す。50%もの大学生が、貯金をする理由に「いざというときの備え」を挙げた。

図1-3-2 貯金の理由 (n=97)



また、貯金の有無による将来の見方の違いを、図1-3-3に示す。

図1-3-3 貯金の有無と将来の見方 (χ^2 乗:p=0.038)



貯金をしていない層では45%が将来を悲観的にとらえているのに対し、貯金をしている層では66%が将来を悲観的にとらえている。この3つの結果から、現在の多くの大学生は将来を悲観的にとらえていて、貯金をしている理由も将来への不安によるものが半数を占めている現状が見て取れる。

このほかに、この調査の成果として、

- ・ 大学生の7割は、将来に金銭面での不安を抱えている
- ・ 大学生の6割強は、人間関係を難しい物と感じている
- ・ 大学生の半数は、将来を悲観的に見ている
- ・ 大学生の半数は、就職する企業に安定感を求めている
- ・ 大学生の6割は、出世よりも時間のゆとりを望んでいる

詳しくは第2章からをごらん願いたい。

[謝辞]

本研究を進める中で、調査の実施に際しては、多くの学生の方々から回答を頂いた。また、調査を行った授業では、担当の先生方のご厚意によって、貴重な授業時間を本研究にお貸し頂いた。まず、このように調査にご協力頂いた皆様に対し、心から御礼を申し上げる次第である。

調査票を作成するまでの過程では、八ツ橋ゼミの所属メンバーをはじめとして、多くの方から示唆を頂いた。また研究の実施全般について、指導教授の八ツ橋先生から様々な示唆を頂いた。これらの皆様に対して、改めて謝意を表す。

第2章 研究の成果

2.1 回答者の概要

調査に際し、母集団を文教大学湘南校舎所属の学生とし、先述した2つの授業に於いて配布し、その場で回収を行った。従って回答標本は、該当授業を受講する生徒となる。

なお、回答標本は無作為抽出で作成してはいないために、母集団から見て標本に偏りを生じる可能性がある。そこで回答者の分布を、表2-1-1と表2-1-2で確認しておく。表2-1-1の学年別の分布では、1年生と3年生の割合が、どちらも45%前後、4年生は5.3%であった。また、表2-1-2の性別の分布では、男子が51%、女子が49%となっている。これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である。しかしクロス集計やグループの平均などの層化を行った集計では、影響は限定されると考えられる。

表2-2-1 回答者と母集団の比較・学年別分布（上段：% 下段：実数）

	1年生	2年生	3年生	4年生	無回答	計
回答者	44.7 (76)	1.2 (2)	48.2 (82)	5.3 (9)	0.6 (1)	100.0 (170)
湘南校舎学生	27.8 (944)	26.8 (910)	22.2 (753)	23.2 (789)	0 (0)	100.0 (3396)

※母集団は、文教大学湘南校舎における、平成20年10月末時点での数値である。

表2-1-2 回答者と母集団の比較・性別での分布（上段：% 下段：実数）

	男性	女性	計
回答者	51.2 (87)	48.8 (83)	100.0 (95)
湘南校舎学生	52.1 (1770)	47.9 (1626)	100.0 (3396)

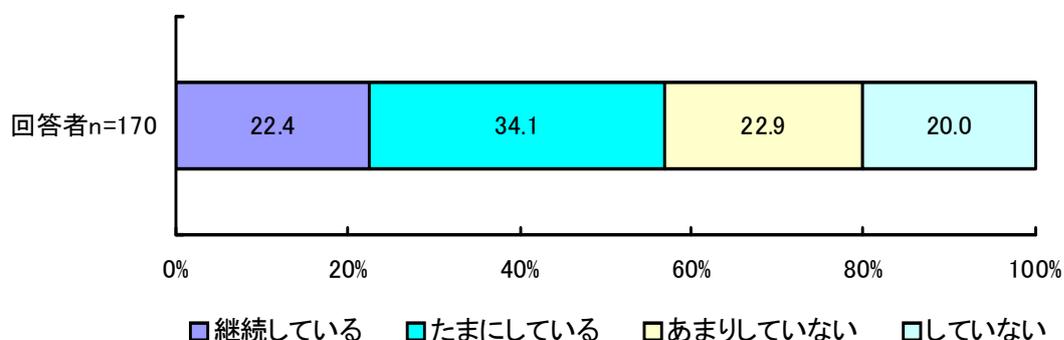
※母集団は、文教大学湘南校舎における、平成20年10月末時点での数値である。

2.2 大学生が持つ金銭への意識

(1) 大学生の貯金の状況

まず、大学生が貯金をしているかどうかを聞いた設問について、結果を図2-2-1に示す。

図 2-2-1 貯金の状況



このように「継続している」と「たまにしている」をあわせ、約57%の学生が、何らかの形で貯金を行っているという結果となった。

続いて図2-2-2と図2-2-3で、この貯金をしている層に、月に貯金をどれだけ行っているか、貯金をするその理由を聞いた結果を示す。

図 2-2-2 毎月の貯金額

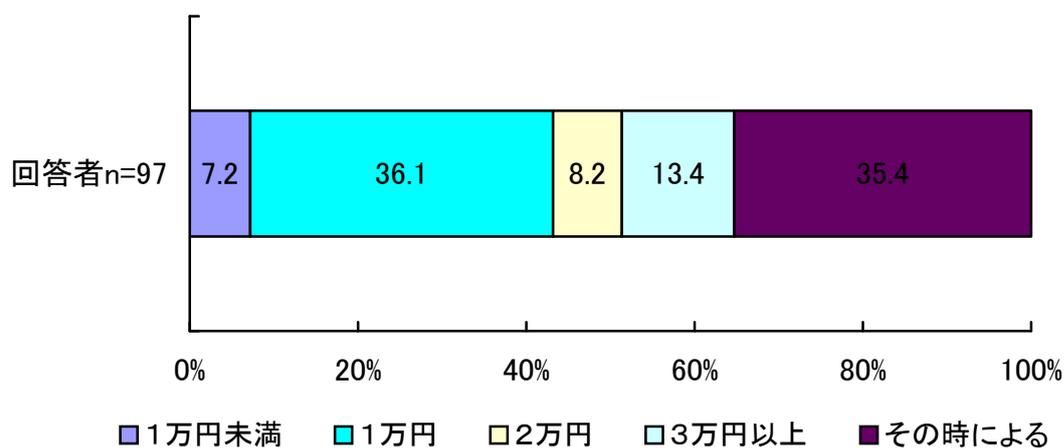
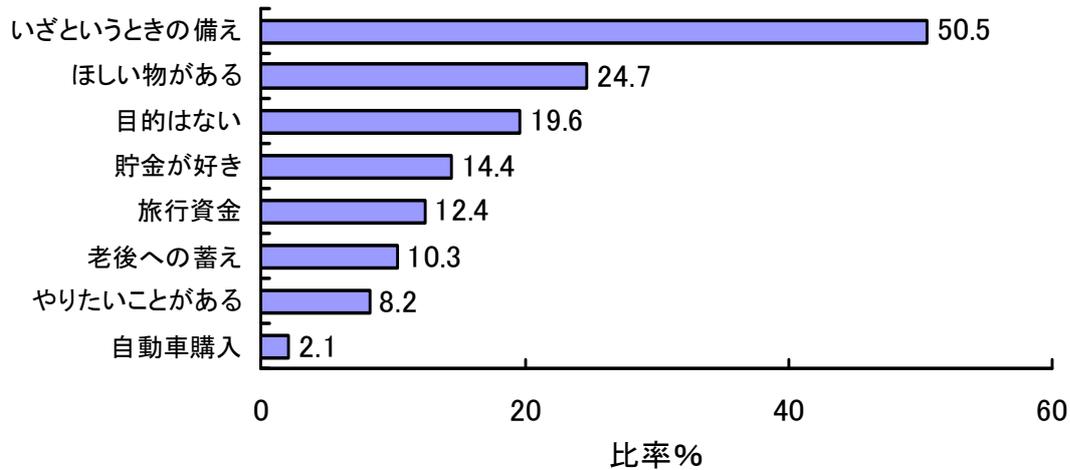


図2-2-3 貯金の理由(n=97)



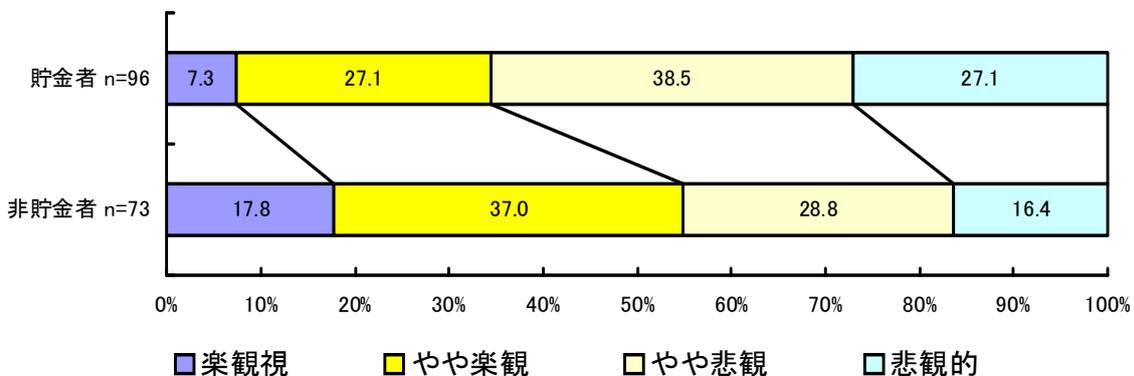
ま

ず毎月の貯金額であるが、「1万円未満」から「3万円以上」という、コンスタントにある程度の額を貯金しているという層が全体の約65%となった。この設問の回答者は、全体の約57%である。つまり、全体の約37%が毎月ほぼ一定額を貯金しているということになる。基本的に収入の少ない学生にあって、「1万円未満」から「3万円以上」というのは、生活に影響のある金額である。そのような金額を毎月貯金している、というのが、学生の現状なのである。

貯金の理由については、「いざというときへの備え」が50%と圧倒的な多数を占めた。先にインターネット調査で、20代全体を対象に同様の設問が出されている。社会にはまだ出る前の段階たる大学生にあって、このような傾向が見られる背景には、将来への不安なども要因としてあげられよう。

続いて、図2-2-4では、貯金の有無により、大学生の抱く将来の見方がどう異なるかを集計した結果を示す。

図2-2-4 貯金の有無と将来の展望(χ^2 乗:p=0.038)

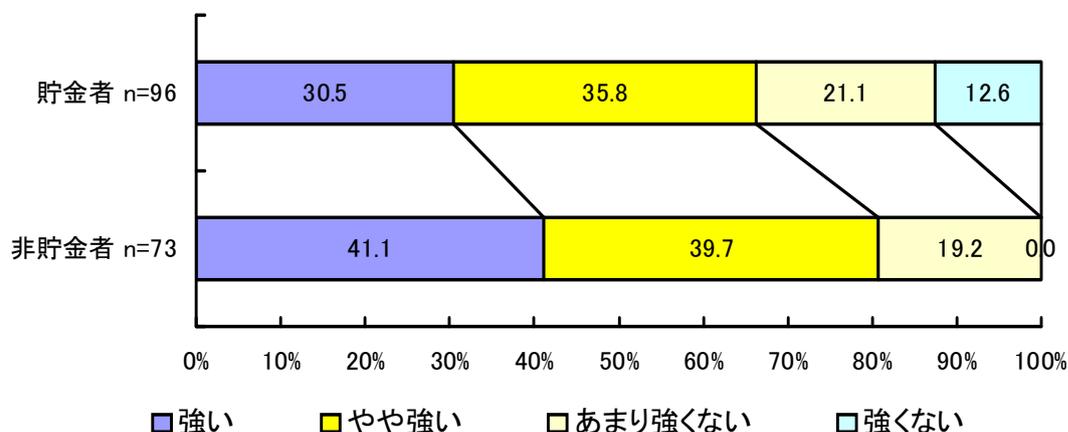


この図によると、悲観的な見方をしている人は、非貯金者では「悲観的」「やや悲観」を合わせて45%なのに対し、貯金者では66%になる。貯金をしている人は、していない人に比べて将来を何ら

かの形で悲観的に捉えている人が有意に多いという結果が見られる。昨今叫ばれる貧富差の拡大と、そこに降って湧いた景気の悪化は、大学生を貯金へと走らせていると考えられよう。

次の図2-2-5では、貯金の有無と物欲の強弱に関する調査結果との関係を示す。

図2-2-5 貯金の有無と物欲の有無(χ²乗:p=0.013)

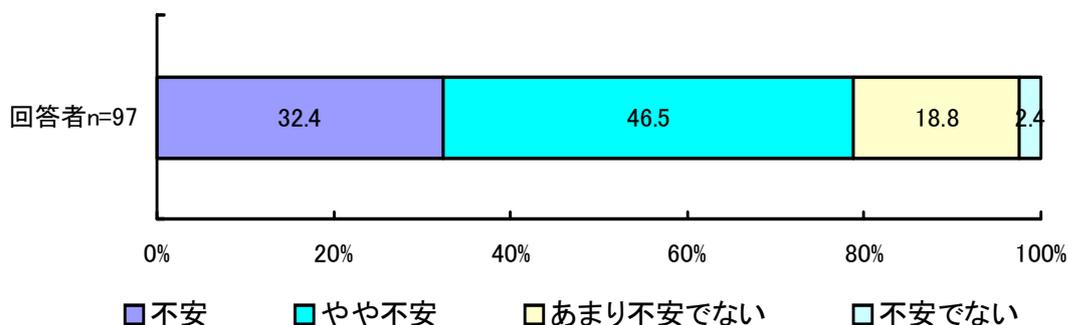


非貯金者では「強い」「やや強い」合わせて81%、それが貯金者になると67%に減っている。貯金をしている人は、貯金をしていない人に比べて、いくらか物欲の弱い傾向がある。これは、先の結果と相まって、無用な支出を抑えようとしていることの表れと見ることができる。また、のちに述べるが、心の豊かさを求める傾向が強くなっている現代人の風潮が、ここにも現れている可能性がある。

(2) 大学生の抱える経済面での不安

ここに挙げる図2-2-6は、将来に対する金銭的な不安を持っているか、それを問うた設問の結果である。

図 2-2-6 将来の金銭的不安

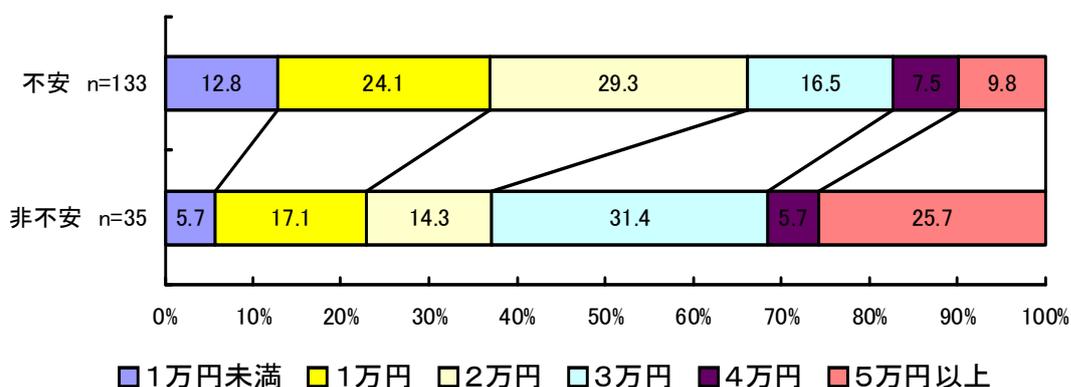


大学生の約79%が、「不安」「やや不安」と回答しており、将来に金銭面での何らかの不安を持っているという結果が出た。先にも述べたが、昨今の経済不安や貧富差の拡大など、経済的な不安要

素が多くある現状が、社会に出る前の大学生にも、このようなかかり強い将来不安を引き起こしているというのは、容易に想像できよう。

この金銭的不安は、財布のヒモに関係とあるのか。次の図2-2-7は、今挙げた金銭的不安の設問と、月に使うお金の金額の関係を調べた結果である。

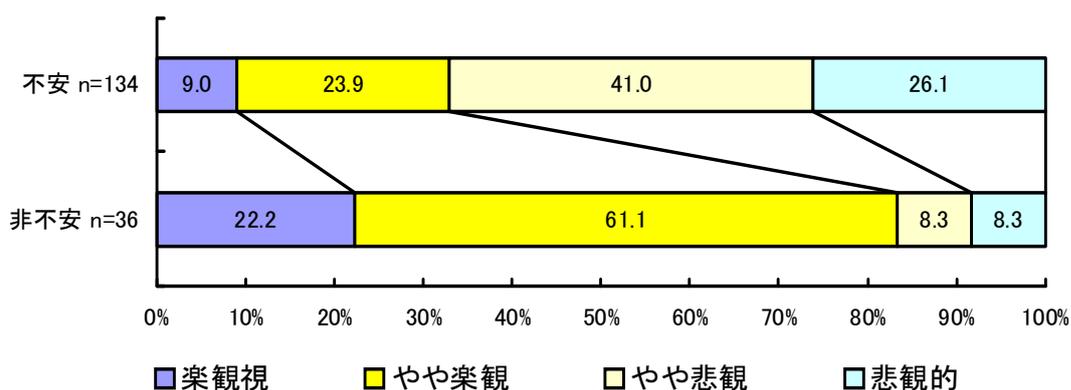
図2-2-7 将来への金銭的不安と月に使うお金 (χ^2 乗:p=0.025)



このように、将来に金銭的不安を抱えている学生は、月に使う金額も2万円以下に抑えるようにしている傾向が見られる。大学生とは、金銭的には貧弱だが財布のひもは緩いというのが、一般的な認識である。その大学生でこのような意識差が現れるというのは、注目すべき点であろう。

この金銭的不安は、将来全体への不安とはどう関係しているのか。将来への金銭的不安と、将来の全体的な展望を照らし合わせた結果を、図2-2-8に示す。

図2-2-8 将来への金銭的不安と将来の見方 (χ^2 乗:p=0.038)



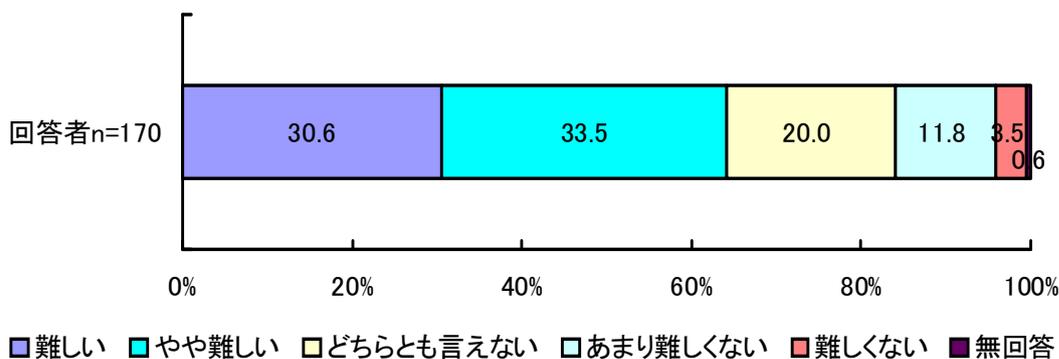
非不安の層では「悲観的」「やや悲観」の回答が約17%であるのに対し、不安であるという層では約67%に激増する。金銭的に不安のある層では、将来の展望は悲観的であるとみる傾向がかなり強く出ている。金銭的な不安を抱えていると、将来全体の見通しもどうしても悲観的になってしまうと言うのが、ここに現れている。

2.3 大学生の人間関係

(1) 大学生は人間関係をどう捉えているか

大学生にとって、人間関係とはどのようなものなのか。図2-3-1では、大学生が人間関係を難しいと感じている割合を調査した結果である。

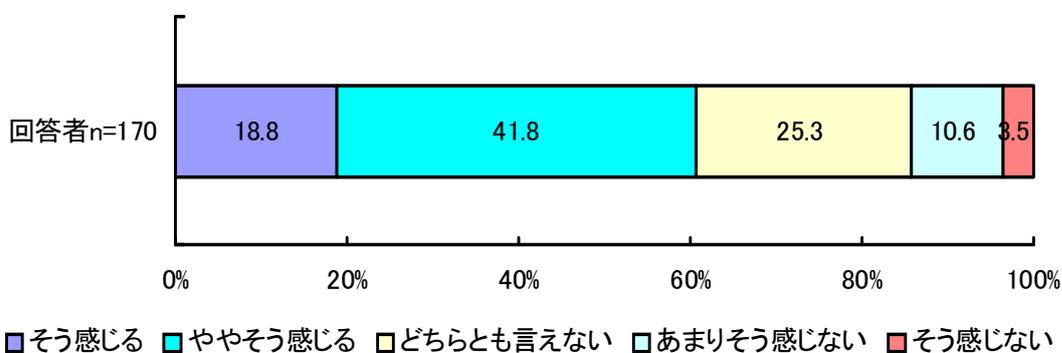
図 2-3-1 人間関係を難しいと感じる度合い



このように、「難しい」「やや難しい」との回答が、合わせて64%となっており、人間関係を難しいものと感じている大学生が多いことが見て取れる。

続いて世の中の人間関係が希薄と感じている度合いについて調査した結果を、図2-3-2に示す。

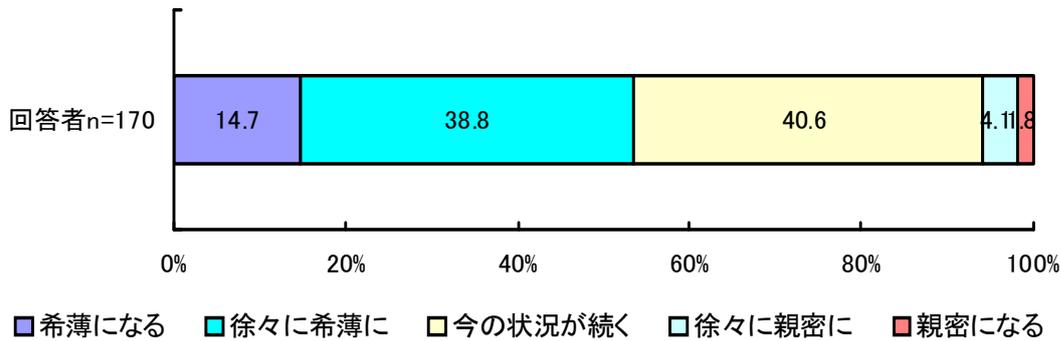
図 2-3-2 人間関係の希薄さを感じる度合い



この設問でも、人間関係が希薄と感じるとの回答が61%と、希薄と感じる割合が高いことが分かった。

そして今度は、この先人間関係が、希薄化か親密化かの観点から、どう推移していくと思うかという設問の結果を図2-3-3に示す。

図 2-3-3 将来の人間関係の見方

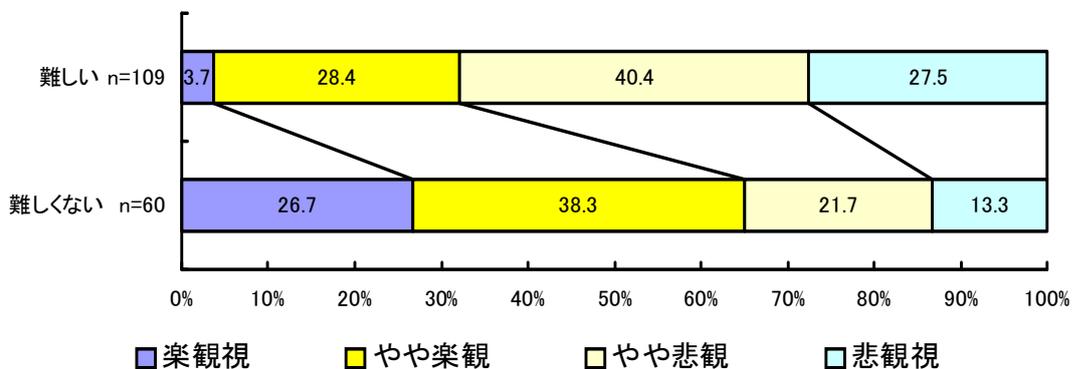


この先の人間関係の見方においても、希薄になると言う悲観的な観測が約54%を占め、残りもほとんどが現状維持という回答であり、親密になると言う回答は非常に小さい。

以上、三つの設問から、大学生にとって人間関係とは難しいものであり、また希薄なものと感じられているということがわかる。さらに、将来にわたっても希薄化していくという見方も得られた。

では、将来をどう見ているかによって、人間関係への意識の違いは現れるのだろうか。図2-3-4では、人間関係を難しいと感じている度合いと将来の見方の関係を示す。

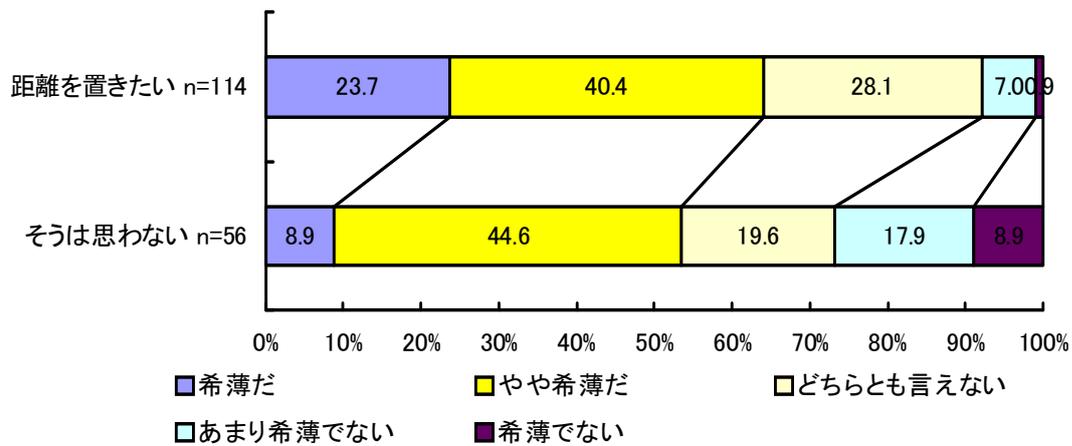
図2-3-4 人間関係への考え方と将来の見方 (χ^2 乗:p=0.000)



難しくないとした層では、35%が悲観的な見方をしているのに対し、難しいとした層では、これが68%になる。このように、人間関係を難しいと感じている人ほど、将来も悲観的に捉える傾向が現れた。人間関係に対する意識は、将来への展望も左右するということが、ここに示されている。

それでは、人間関係の希薄感と他人との距離感はどう関係するのだろうか。図2-3-5では、他人と距離を置きたいかどうかという設問と、人間関係を希薄と感じるかどうかの設問を合わせて集計した結果を示す。

図2-3-5 他人との距離感と人間関係の希薄さ(χ²乗:p=0.002)



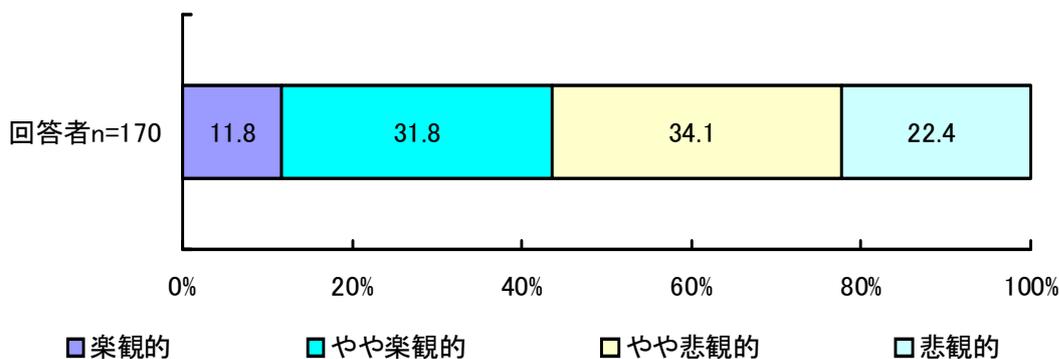
そう思わない層では、希薄さを感じているのは54%だったのに対し、距離を置きたい層では64%となった。距離を置きたい層では、他人と距離を置きたいと考える層では、人間関係の希薄さを感じる傾向が強く示されている。人間関係は、社会全体で希薄となっている現状であるが、仕事などのように受動的でなく、能動的に人間関係を活発にできるはずの大学生だが、その大学生にも人間関係の希薄化は色濃く表れている現実が見られる結果だと思う。

2.4 大学生の将来

(1) 大学生は将来をどう捉えているか

これまで、大学生の将来への見方の設問を、様々な設問と絡めて大学生の現状を検証してきた。一旦ここで、その設問の集計結果を、図2-4-1に示す。

図 2-4-1 将来の見方



「悲観的」「やや悲観的」という回答が57%となった。大学生は、半数以上が将来を悲観的に見ていることが分かる。金銭的な不安の項目でも述べたが、やはり様々な不安要素が社会にあり、そこからこのような結果が出ていると感ぜられる。

この結果は、環境的要因に関係があるのだろうか。図2-4-2と図2-4-3で、将来の見方と現在の生活形態、それとサークルへの所属の可否との関係を調べた結果を示す。

図2-4-2 将来の見方と現在の生活形態

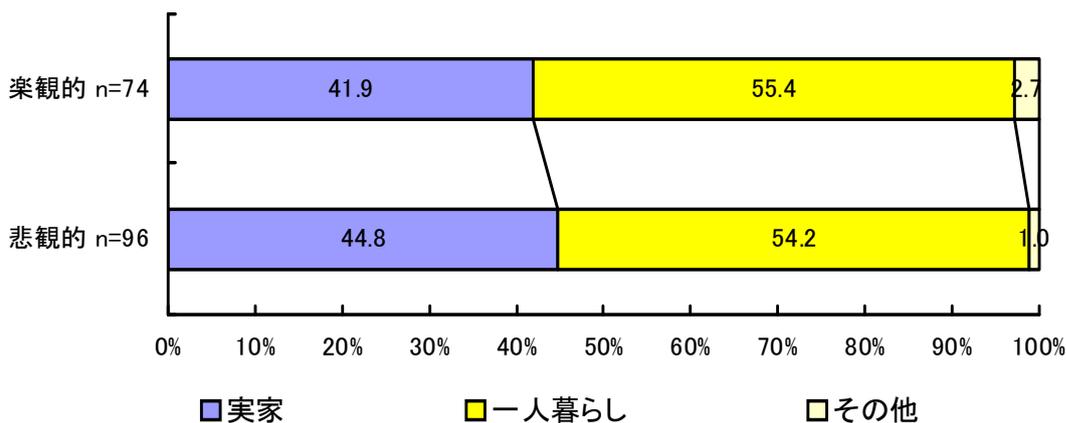
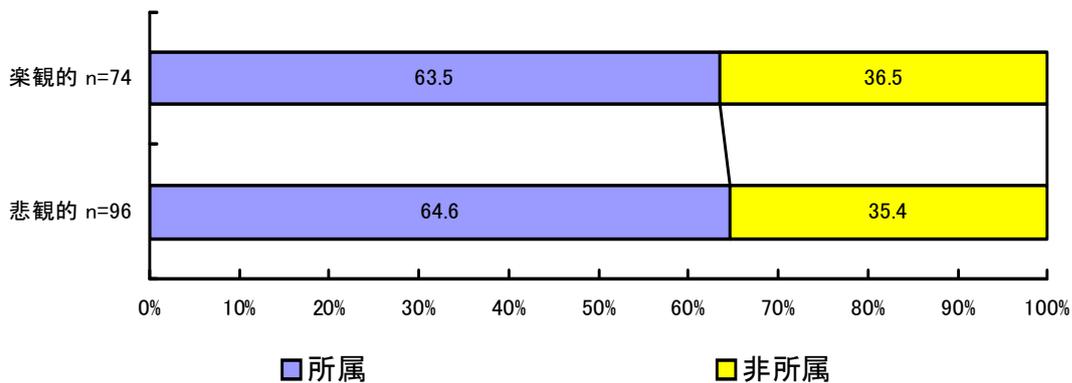


図2-4-3 将来の見方とサークル所属



この2つは、各個人の考え方を大きく左右する環境差だと思われる。しかし、ここではほとんど差が現れていない。このことから、将来への見方に関しては、環境的な要因によって左右されることがないことが分かった。要するに、社会全体に蔓延する先行きへの不安感は、大学生にもそのまま広がっていて、それは環境による考え方の違いには関係しない、ということである。

(2) 学生の将来的な生活への希望

大学生は、就職先についてはどういった考え方を持っているのか。就職したいとおもう企業の姿勢と大学生の望む生活スタイルから、それを解き明かそうと思う。図2-4-4では、就職するならば、革新的で挑戦的な企業と堅実的で安定的な企業のどちらが良いのかという設問の結果を、図2-4-5では、社会生活でのタイプは、出世や給料アップに向け仕事を優先するか時間のゆとりを優先するかという設問の結果を、それぞれ挙げている。

図 2-4-4 就職で望む企業のタイプ
A:革新的・挑戦的企業 B:堅実的・安定的企業

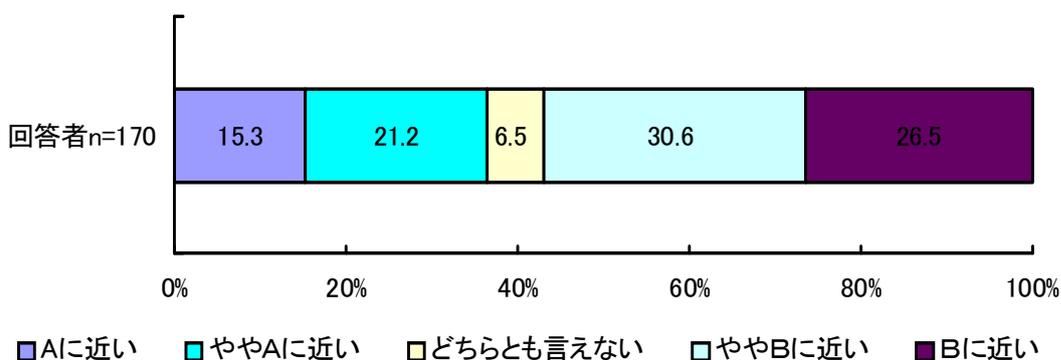
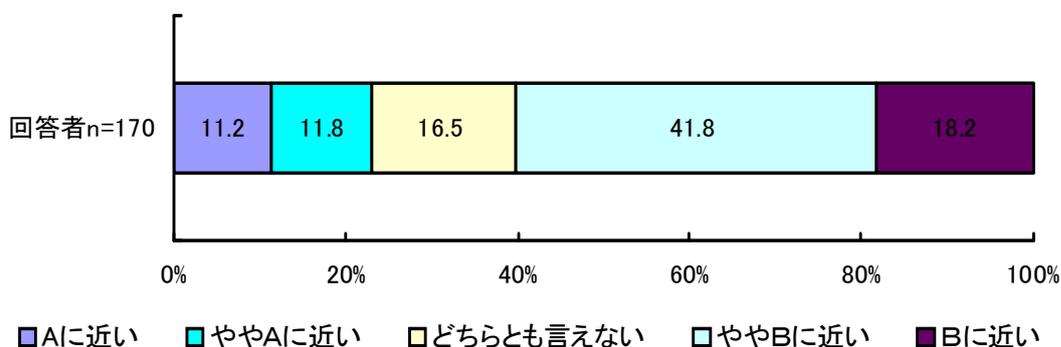


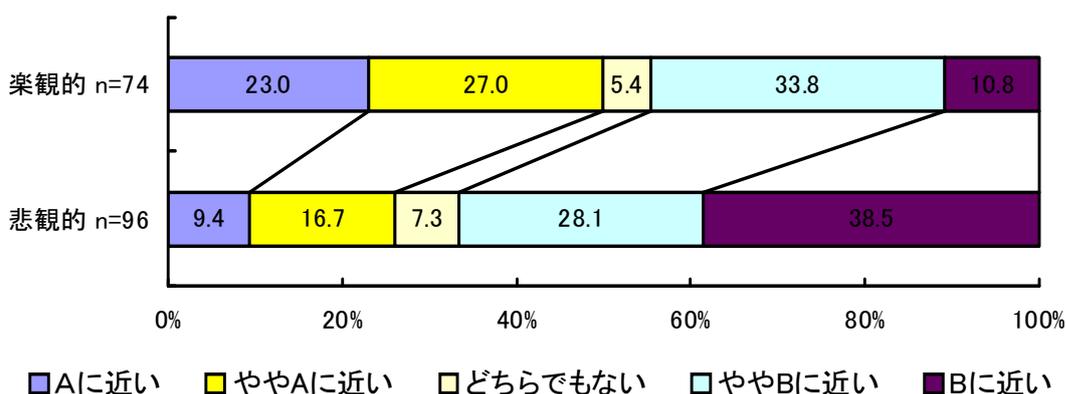
図 2-4-5 望ましい生活タイプ
A: 出世や給料アップを優先 B: 時間のゆとりを優先



就職したい企業を問う設問では、安定・堅実な企業を求める回答が57%を占めている。また、社会生活上では、時間のゆとりを優先したいという回答が60%を占めている。就職をするならば堅実で安定した企業を、会社では時間のゆとりを。これは、あまり積極的に動いて物質的な豊かさを得ようと言うのではなく、自分が満たされていればいい、安心感を得て堅実に生きたい、そういった傾向の表れではないかと感じる。

この傾向と将来の見方があるのかを、次の図2-4-6で示す。

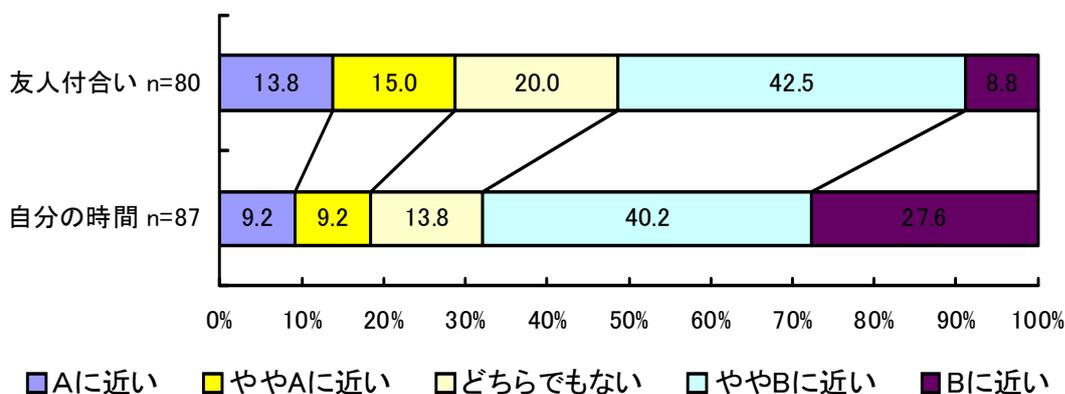
図2-4-6 将来への展望と就職したい企業
A: 革新的・挑戦的企業 B: 堅実的・安定的企業
(χ^2 検定: $p=0.001$)



楽観的な層では、安定した企業を求める回答が45%であるのに対し、悲観的な層では67%になる。将来を悲観的に見ている層で、堅実な企業を求める傾向が強くなっているという結果を得られた。つまり将来への不安があり、堅実な企業で先々の安心感を得たいのではないかと考えることができる。

続いて、友人との付き合いと自分の時間のどちらを優先するかと、望む生活スタイルを照らし合わせた結果を、図2-4-7に示す。

図2-4-7 他人との付き合いの優先度と望む生活タイプ
 A: 出世や給料アップを優先 B: 時間のゆとりを優先
 (χ^2 乗:p=0.028)



友人付き合いと答えた層では、51%が時間のゆとりと回答したのに対し、自分の時間と答えた層では、68%が時間のゆとりを選んだ。友人との付き合いより自分の時間を優先したいという層で、時間のゆとりを優先したいという回答が多くなる傾向が見られる。この傾向は、自分の時間を確保するために、時間のゆとりを求めていると言う構図にも見える。自分だけの時間を確保して、確実に精神的な充足を図りたい。物の豊かさを求めなくなっているという現代の状況からも、そういった傾向があるのだろうということは推測できよう。

第3章 まとめと今後の課題

今回の調査では、大学生が世間に吹き荒れる不況の波の前に、かなり強い不安を抱えている現状を垣間見られた。経済的な不安、雇用の問題、貧富差の拡大など、様々な不安要素を抱えている現在の日本では、大学生も何も考えず安穩とは生活してられない、それが現実であるという事だ。そしてそれへの対策はと言うと、積極的な方向に動くと言うことではなく、緊縮した生活によってできるだけ静を求める。それは少しでも支出を減らして、先々の安心感を得ようとした結果である。と、そんな所なのだと思う。それこそ、本来だったら多少将来に不安があろうとも、恐れず希望を持って生活しているべきである大学生ですらこの状況であるのだから、よほど今の日本が疲弊していると受け取ることもできる。

大学生が堅実志向でできるだけ支出を減らす姿勢であること、これは、もしかしたら大学生が将来に希望を持たず、大きな不安が積極的な生き方を躊躇させているのかも知れない。若者は夢を持たなくなった、とか、若者が積極的でない、という批評を年齢が上の世代からよく聞くが、若者が夢を持たなくなったと言うのが正解なのかも知れない。若者が夢を見られない、これが今の日本の現実なのであろうか。

この若者が夢を見られないという状況は、この数ヶ月の経済状況による物ではないだろう。好景気であった昨年頃までの日本においては、確かに一部には、ITバブルに乗って一気に財を成し、一世を風靡した若き成功者の姿も見られた。しかし、人件費を抑えて利益を上げようという大企業の姿勢によって、世間からこぼれてしまった若者の姿が大いに目立ったのもあの好景気の特徴である。一度派遣社員になればほとんど将来の保証などなく、そこに成果を認めるシステムなども存在しない。正社員になってもまともな給料をもらえないという、ワーキングプアなる層も出現した。このような状況下で多感な思春期を過ごせば、どうしたって生活不安が常に頭を過ぎる。それは仕方のないことだと思う。

職業訓練や職業斡旋など、政治はわずかながら確かに若者に対して、生活への不安を少しでも解消しようと働きかけをしている。しかし、大切なのは一度失敗した人間には、なにか問題があるとレッテルを貼ってしまう社会システムの改革だと思う。今も昔も、企業はできるだけ新しい労働力を求める。特に日本はその思想から、新卒採用至上主義とも言える、大学卒業と同時に大量に雇い入れる体制が一般的だ。これは二昔前の、企業による生活保障が確立していた時代だからできたことである。この体制は、人材が流動的になっている今の日本には、何ともなじまない制度ではないか。

この不景気は未曾有の物である。その中でも希望を持って、失敗を恐れず積極的に生きる若者は、世の中に活気を与える存在のはずだ。それがたった一回失敗したら、まともな職にも就けないような現状では、その希望だって奪いかねない。少子高齢化が進行するこの国において、高齢者に対する対

策は急務である。しかし、それと同じくらい、少ない若者の士気を高め、活発に生きることを止めない社会作りも、重要ではないだろうか。その社会作りは、政治だけである事ではない。人間を使う企業にも、人間を育てる教育にも、そして我々自身にも、意識改革の必要な部分があるのではないだろうか。

さて、この調査は11月末に行ったものである。米国の証券会社破綻に端を発した今回の金融危機は止まるところを知らず、年が明けても経済状況は悪化の一途を辿っている。同じ大学生でも就職が決まった者の内定が取り消され、大手企業は軒並み業績を落とし、政治は手をこまねいて国民に総スカンを食う。もしかしたらもう一度、これを書いている2月時点でのデータを取ったら、さらに不安感は強くなっている可能性もある。貧富差や庶民レベルでの景気回復が実感できないなど、戦後最長の好景気とも言われた昨年頃までの日本でも、不安要素は多分にあった。まだ一部に楽観論もあった時期にしてこの調査結果なのだから、不安要素が格段と増した今、さらに不安とを感じる学生が増えているのではないだろうか。

4. 参考文献

内閣府国民生活局 国民生活白書・平成15年度版

<http://www5.cao.go.jp/seikatsu/whitepaper/h15/honbun/index.html> (2003)

内閣府国民生活局 国民生活白書・平成19年度版

http://www5.cao.go.jp/seikatsu/whitepaper/h19/01_honpen/index.html (2007)

内閣府国民生活局 国民生活選好度調査・平成18年度実施版

<http://www5.cao.go.jp/seikatsu/senkoudo/senkoudo.html>

(2007)

株式会社マクロミル 若者の生活意識調査

<https://monitor.macromill.com/researchdata/20080228young/index.html> (2008)

インテリジェンス・毎日コミュニケーションズ フリーターの8割が不満を抱いている- 若者のマネー事情の現在 <http://journal.mycom.co.jp/news/2007/04/24/029/index.html>

(2007)

生活意識に関する調査

広報学科4年生(ハツ橋ゼミ所属) 内野涼介

問1 あなたが、遊びや買い物など自由に使えるお金は、月どの程度ですか。(1つに○)

1. 1万円未満	2. 1万円台	3. 2万円台	4. 3万円台	5. 4万円台	6. 5万円以上	無回答
6.5	17.6	22.9	20.0	8.8	23.5	0.6

問2 あなたは、遊びや買い物などで月にどの程度金を使いますか。(1つに○)

1. 1万円未満	2. 1万円台	3. 2万円台	4. 3万円台	5. 4万円台	6. 5万円以上	無回答
11.2	22.4	25.9	19.4	7.1	12.9	1.2

問3 あなたは、貯金をしていますか。(1つに○)

1. 継続的にしている	2. たまにしている	3. あまりしていない	4. していない	無回答
22.4	34.1	22.9	20.0	0.6
→問6へ			→問6へ	

問4 貯金は、月あたりどの程度行っていますか。(1つに○)

1. 1万円未満	2. 1万円台	3. 2万円台	4. 3万円以上	5. その時々で変わる
7.2	36.1	8.2	13.4	35.1

問5 あなたは、なぜ貯金をするのですか。(あてはまるすべてに○)

1. いざというときの備え	2. 旅行資金	3. ほしいものがある	4. 老後への蓄え
50.5	12.4	24.7	10.3
5. 貯金がすき	6. 自動車の購入	7. 何かしたい(起業など)	8. 目的はない
14.4	2.1	8.2	19.6

→回答後、問7へ進んでください。

問6 あなたはなぜ、貯金をしないのですか。(あてはまるすべてに○)

1. 面倒である	2. 貯金するほどお金がない	3. 貯金をする理由がない	4. 使い切ってしまう	5. 貯金が嫌い
9.7	59.7	8.3	41.7	1.4

問7 あなたは、衝動買いをする方ですか。(1つに○)

1. よくする	2. たまにする	3. あまりしない	4. しない	無回答
26.5	51.8	15.3	5.9	0.6

問8 あなたは、自分は物欲が強い方だと思いますか。(1つに○)

1. そう思う	2. ややそう思う	3. あまりそう思わない	4. そう思わない	無回答
35.3	37.1	20.0	7.1	0.6

問9 あなたは、休日はどのように過ごすことが多いですか。(1つに○)

1. 自宅で過ごすことが多い	2. やや自宅で過ごすことが多い	3. どちらとも言えない
21.2	24.7	17.1
4. やや外出することが多い	5. 外出することが多い	
18.8	18.2	

問10 あなたは、趣味をどれ位持っていますか。(1つに○)

1. 多趣味である 16.5	2. いくつか趣味が ある 55.3	3. 趣味はあまり無 い 25.3	4. 趣味はない 2.9
-------------------	-----------------------	----------------------	-----------------

問11 あなたは人間関係を難しいと感じますか。(1つに○)

1. そう 思う 30.6	2. ややそう 思う 33.5	3. どちらとも言 えない 20.0	4. あまりそうは思 わない 11.8	5. そうは思 わない 3.5	無回答 0.6
------------------	--------------------	-----------------------	------------------------	--------------------	---------

問12 あなたは日常生活のうえで、他人とはできるだけ距離をおきたいと思いませんか。(1つに○)

1. そう思 う 8.8	2. ややそう思 う 19.4	3. どちらとも言 えない 38.8	4. あまりそうは思 わない 22.9	5. そうは思 わない 10.0
-----------------	--------------------	-----------------------	------------------------	---------------------

問13 友人など、比較的親しい付き合いをしている人とも、ある程度距離を置いた付き合い方を望みますか。(1つに○)

1. そう思 う 6.5	2. ややそう思 う 24.1	3. どちらとも言 えない 29.4	4. あまりそうは思 わない 30.6	5. そうは思 わない 9.4
-----------------	--------------------	-----------------------	------------------------	--------------------

問14 友人との付き合いと自分の時間、どちらを優先しようと思いませんか。(1つに○)

1. 友人との付き合い 47.1	2. 自分の時間 51.8	無回答 1.2
------------------	---------------	---------

問15 いわゆる「気の置けない友人」というものが、あなたにはどの程度いますか。(1つに○)

1. いない 10.0	2. 1~3人 42.4	3. 4~6人 24.1	4. 7~9人 7.6	5. 10人以上 15.3	無回答 0.6
----------------	-----------------	-----------------	----------------	------------------	---------

問16 あなたは普段、大学では何人くらいで過ごすことが多いですか。(1つに○)

1. あなただけで 6.5	2. 2~4人 65.9	3. 5~7人 22.4	4. 8~10人 2.9	5. 11人以上 2.4
------------------	--------------	--------------	--------------	-----------------

問17 あなたは、学校関連やアルバイト関連以外^{以外}のプライベートな時間で、どれくらい友人と会いますか。(1つに○)

1. しょっちゅう 会う 15.3	2. たまに会う 52.4	3. あまり会 わない 21.8	4. ほとんど 会わない 10.6
----------------------	---------------	---------------------	----------------------

問 18 次に挙げる間柄の人たちと、どれくらいの付き合いを望みますか。（各項目とも1つに○）

普段の付き合い方は…	親密に	やや親密に	どちらでもない	やや距離を置く	距離を置く	
a. 大学のゼミ仲間	1 8.2	2 35.9	3 31.8	4 12.4	5 7.1	無回答 4.7
b. 大学のサークル仲間	1 25.3	2 35.3	3 23.5	4 7.1	5 5.9	無回答 2.9
c. 親友(大学・地元など問わず)	1 65.9	2 24.1	3 6.5	4 1.8	5 1.2	無回答 0.6
d. 自宅の近所の人	1 8.2	2 15.3	3 38.8	4 24.7	5 11.8	無回答 1.2
仕事外の付き合い方は…	親密に	やや親密に	どちらでもない	やや距離を置く	距離を置く	
e. アルバイトの同僚(していない人は、したものと仮定して)	1 11.8	2 35.9	3 32.9	4 11.2	5 7.1	無回答 1.2
f. 職場の同僚や上司(就職したと仮定して)	1 9.4	2 32.4	3 35.3	4 15.9	5 5.9	無回答 1.2

問 19 あなたは、今の世の中は人とのつながりが希薄であると感じますか。（1つに○）

1. そう感じる 18.8	2. ややそう感じる 41.8	3. どちらとも言えない 25.3	4. あまりそうは感じない 10.6	5. そうは感じない 3.5
------------------	--------------------	----------------------	-----------------------	-------------------

問 20 この先、世の中全体の間人間関係はどうなっていくと思いますか。（1つに○）

1. 希薄になる 14.7	2. 徐々に希薄になる 38.8	3. 今の状態が続く 40.6	4. 徐々に親密になる 4.1	5. 親密になる 1.8
------------------	---------------------	--------------------	--------------------	-----------------

問 21 人間関係が希薄になるのは問題だと思いますか。（1つに○）

1. そう思う 35.9	2. ややそう思う 37.1	3. どちらとも言えない 18.2	4. あまりそうは思わない 4.7	5. そうは思わない 3.5	無回答 0.6
-----------------	-------------------	----------------------	----------------------	-------------------	------------

問 22 あなたは、日常生活の中で物価の上昇を感じることはありませんか。（1つに○）

1. そう感じる 47.1	2. ややそう感じる 35.9	3. どちらとも言えない 11.2	4. あまりそうは感じない 5.3	5. そうは感じない 0.6
------------------	--------------------	----------------------	----------------------	-------------------

問 23 あなたは、この先将来への考え方はどちらですか。（1つに○）

1. 楽観的だ 11.8	2. やや楽観的 31.8	3. やや悲観的 34.1	4. 悲観的だ 22.4
-----------------	------------------	------------------	-----------------

問 24 あなたは、この先の将来に金銭的な不安を抱えていますか。（1つに○）

1. とても不安 32.4	2. やや不安 46.5	3. あまり不安ではない 18.8	4. 不安ではない 2.4
------------------	-----------------	----------------------	------------------

問25 次のAとBの企業なら、どちらに就職することを望みますか。(1つに○)

A：革新的・挑戦的企業

B：堅實的・安定的企業

1. Aに近い	15.3	2. ややAに近い	21.2	3. どちらとも言えない	6.5	4. ややBに近い	30.6	5. Bに近い	26.5
---------	------	-----------	------	--------------	-----	-----------	------	---------	------

問26 次のAとBなら、どちらを優先しますか。(1つに○)

A：仕事を優先して給料のアップや出世を取るゆとりを優先

B：仕事はそれなりに時間の

1. Aに近い	11.2	2. ややAに近い	11.8	3. どちらとも言えない	16.5	4. ややBに近い	41.8	5. Bに近い	18.2	無回答	0.6
---------	------	-----------	------	--------------	------	-----------	------	---------	------	-----	-----

問27 あなたは、どのようなアルバイトを行っていますか。(1つに○)

1. 長期契約のアルバイト	72.9	2. 短期契約・日雇いのアルバイト	6.5	3. やっていない	20.6
---------------	------	-------------------	-----	-----------	------

問28 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1. 男	51.2	2. 女	48.8
------	------	------	------

問29 あなたの学年をお答えください。(1つに○)

1. 1年生	44.7	2. 2年生	1.2	3. 3年生	48.2	4. 4年生	5.3	無回答	0.6
--------	------	--------	-----	--------	------	--------	-----	-----	-----

問30 あなたは現在、どのように生活していますか。(1つに○)

1. 実家暮らし	43.5	2. 一人暮らし	54.7	3. その他	1.8
----------	------	----------	------	--------	-----

問31 あなたは、サークルに所属していますか。(1つに○)

1. はい	64.1	2. いいえ	35.9
-------	------	--------	------

問32 あなたは、学内の自治会や実行委員会などの団体に所属していますか。(1つに○)

1. はい	7.1	2. いいえ	92.9
-------	-----	--------	------

問33 あなたの实家は、何人家族ですか。(1つに○)

1. 3人以下	8.8	2. 4人	44.7	3. 5人	23.5	4. 6人	17.1	5. 7人	4.1	6. 8人以上	1.8
---------	-----	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-----	---------	-----

問34 あなたの所属学科をお答えください。(1つに○)

1. 広報	71.8	2. 情報システム	1.2	3. 経営情報	22.4
4. 国際コミュニケーション	0.0	5. 国際関係	4.1	6. 健康栄養	0.6

以上、単純集計結果